



教育通信

こころのわ

KO KO RO NO

●学校・家庭・地域社会の[心]を結ぶ●



VOL. 32



©岡山県「ももっち」

11月1日は「おかやま教育の日」です。「おかやま教育の日」とは、県民の皆様へ教育に対する理解と関心を高めていただき、学校教育や生涯学習など、教育の振興気運を盛り上げていくために、全国に先駆けて平成13年6月に県の条例で定めたものです。この日をきっかけに教育や文化に触れてみませんか？

地域の学校や文化施設でのイベント情報はこちら



## 特集 コロナ禍において、家庭で気を付けてほしいこと

～夢を持ち、挑戦する子どもたちを支えるために～

こんなことが気になりませんか？

コロナ後のために、今、あらためて気をつけたい



### 特集テーマ1 生活リズムについて

生活リズム見直しのポイントを紹介します！

### 特集テーマ2 体力の向上について

運動の紹介を促進する「運動習慣カード」の紹介と、家庭で子どもと一緒に取り組める運動を紹介します！

### 特集テーマ3 子どものSOSサインについて

子どもの変化への気づきや、SOSサインの受け取り方と、それへの対応について紹介します。不安を感じたときに相談できる窓口についても紹介します。

ご家庭で、話し合ってみてください。



## 県教育長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症への対策として、学校や家庭での生活に様々な制限が続いています。身体的距離の確保や、マスクの着用などによる「新しい生活様式」の中での生活も3年目になりますが、残念ながら未だ収束の兆しが見えてまいりません。そうした中、子どもたちの体力の低下や、不登校の子どもたちの数が増加傾向となるなど、様々な影響が指摘されています。こうした状況の中では、学校、家庭、地域が連携しながら、子どもたちの声をしっかりと受け止め、子どもたちの前向きな取組を支え、応援していくことがますます重要となってきています。

岡山県教育委員会では、子どもたちが「やってみたいこと」や「なりたい自分」に出会い、それを自分の「夢」として育み、さらにそれに向かって挑戦していく経験を通して、「意欲」や「自信」といった「自分を高める力」などの非認知能力を高めていく「夢育」に取り組んでいます。その基盤としては、まずは子どもたちが心身ともに健康で、何事にも明るく前向きな気持ちで取り組めることが重要です。生活習慣

や運動習慣、対人関係などについて心配なことがないか、ご家庭でも様々な機会を捉えてお子様と話し合っていただきたいと思います。また、令和3年度に実施した「スマートフォン等の利用に関する実態調査」の結果では、スマホを持っている子どもたちの割合は年々増加し、長時間利用する割合も増加傾向にあります。スマホを含む情報端末との付き合い方についても、ご家庭で話し合い、子どもたちと一緒に「わが家のルール作り」をしていただきたいと思います。

本県では、自分の「夢」を持つことを「学び」の原動力にしながら、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの育成に取り組んでおります。「先を見通すことが難しい」と言われるこれからの時代を、自分の力でしっかりと生き抜いていける資質や能力を育むために、保護者・地域の皆様には、引き続きご理解と協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



岡山県教育委員会 教育長  
かぎもと よしあき  
鍵本 芳明

県内の教育関連情報を発信中。フォローよろしくお願いします！



家庭向け教育情報紙「こころのわ」Vol.32 令和4年10月発行

編集・発行／岡山県教育庁教育政策課 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 ☎086-226-7569  
この「こころのわ」は子どもたちをすこやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆様に提供します。

「こころのわ」バックナンバーは県のホームページからご覧いただけます

